

南砺市文化芸術振興実施計画

第1回策定委員会

令和2年7月2日（木） 16：30～
南砺市役所福光庁舎 大ホール

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員の紹介
- 5 委員長及び副委員長の選出（あいさつ）
- 6 議事
 - ・ 南砺市文化芸術振興基本計画改定および第2次南砺市文化芸術振興実施計画策定事業の進め方について・・・・・・・・資料1
 - ・ 南砺市文化芸術振興基本計画改定および第2次南砺市文化芸術振興実施計画策定事業のスケジュールについて・・・・・・・・資料2
 - ・ 南砺市文化芸術振興基本計画の改定内容について・・・・・・・・資料3
 - ・ 第1次南砺市文化芸術振興実施計画の事業内容について・・・資料4
- 7 閉会

令和2年度「南砺市文化芸術振興実施計画策定委員会」委員名簿

1. 委員名簿

役職	氏名	所属	分野
委員	古池 嘉和	名古屋学院大学 現代社会学部 教授 元富山大学 芸術文化学部 教授	文化政策
委員	安嶋 是晴	富山大学 芸術文化学部 准教授	伝統文化
委員	川合 声一	南砺市観光協会 会長	観光
委員	水落 仁	富山県生活環境文化部 文化振興課 課長	文化振興
委員	舟岡 昭美	南砺市商工会女性部 部長	商工
委員	松本 久介	南砺市地域づくり協議会連合会 会長	地域振興
委員	片岸 博	南砺市友好交流協会 会長	国際交流
委員	高坂 真理	南砺市 教育委員	教育
委員	野村 斗萌	福野文化創造センター 学芸員	芸術
委員	村上 紀道	南砺市教育委員会 教育部 部長	教育
委員	此尾 治和	南砺市ブランド戦略部 部長	産業経済
委員	向井 竜太郎	南砺市観光協会 (ワーキンググループ第1部会兼務)	公募
委員	前川 大地	井波彫刻家 (ワーキンググループ第2部会兼務)	公募
委員	川田 真紀	南砺きくばりプロジェクトリーダー (ワーキンググループ第3部会兼務)	公募

順不同、敬称略

2. 顧問

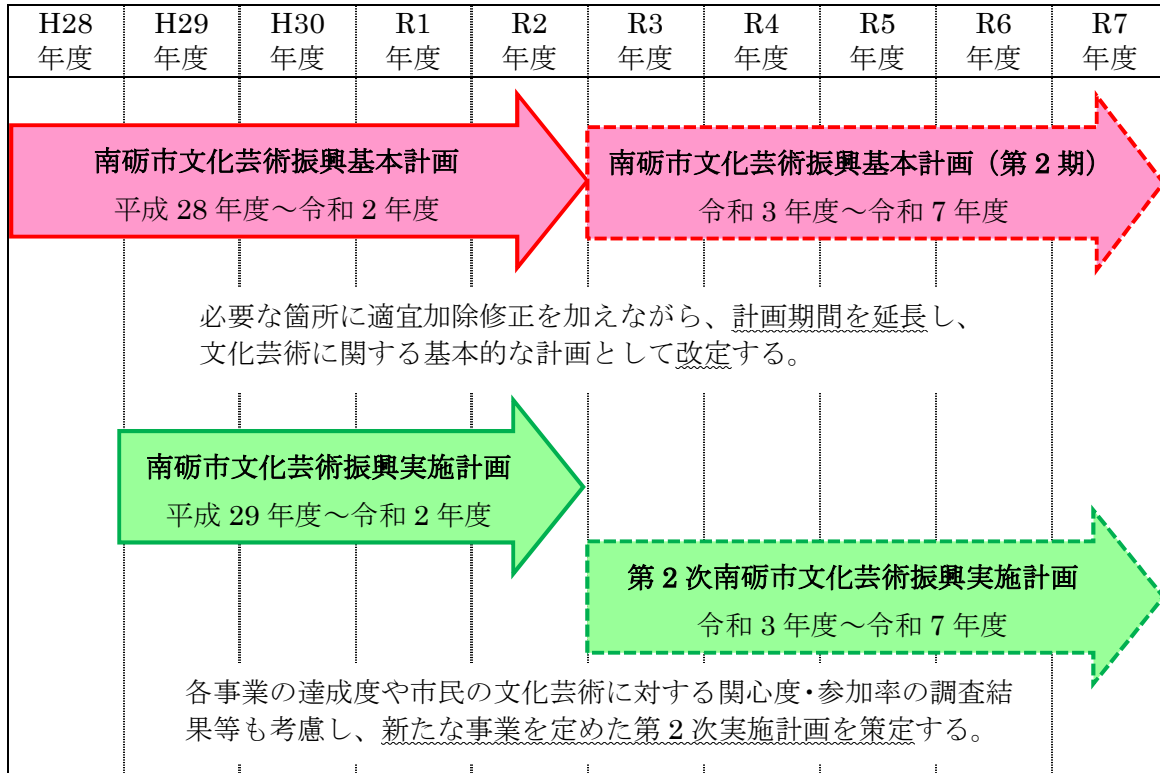
顧問	伊藤 裕夫	日本文化政策学会 顧問 元富山大学 芸術文化学部 教授	文化政策
----	-------	--------------------------------	------

3. 事務局

事務局長	長岡 芳典	南砺市ブランド戦略部 文化・世界遺産課長
事務局	山本 悦司	南砺市ブランド戦略部 文化・世界遺産課 文化振興係長
事務局	米 由香利	南砺市ブランド戦略部 文化・世界遺産課 文化振興係 主事
事務局	上水 沙貴	南砺市ブランド戦略部 文化・世界遺産課 文化振興係 主事

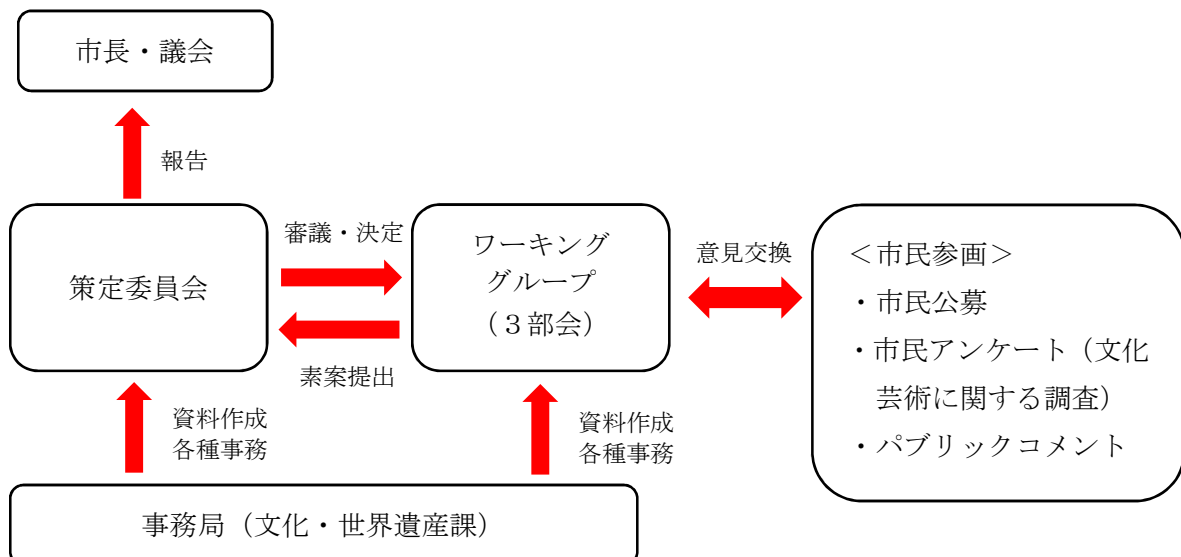
南砺市文化芸術振興基本計画改定および第2次南砺市文化芸術振興実施計画策定事業の進め方について

1. 計画策定の流れ



2. 策定体制

実施計画推進ワーキンググループにおいて、これまでの文化芸術推進事業の実施状況や市民アンケート調査の結果等をふまえた実施計画（案）を作成する。次に、学識経験者や関係団体の役職員、公募委員などで組織する南砺市文化芸術振興実施計画策定委員会に実施計画（案）を提出し、意見を反映させ実施計画を策定する。あわせて基本計画の内容についても協議し改定を行う。



基本計画改定および実施計画策定事業スケジュール

日程	内容	市民	議会	策定委員会	推進ワーキンググループ			
					第1部会	第2部会	第3部会	
令和2年	5月	○市民アンケートの実施 「文化芸術に関する調査」を市民意識調査にあわせて実施。市民2,500人に調査票郵送。	市民アンケート					
	6月	○南砺市議会 全員協議会 策定趣旨及びスケジュール等の説明		全協				
	7月	○第1回策定委員会 ・委員の紹介、委員長・副委員長の選出 ・策定スケジュール等について ・基本計画の改定について協議 ○第1回推進ワーキング全体会 ・事業の進め方について ・実施計画案作成に向けた協議			第1回(7/2)	第1回推進ワーキング全体会		
	8月	○推進ワーキング各部会 実施計画案作成に向けた協議				第1回	第1回	第1回
	9月	○推進ワーキング各部会 実施計画案作成に向けた協議				第2回	第2回	第2回
	10月	○推進ワーキング各部会 実施計画案作成に向けた協議 ○第2回策定委員会 ・基本計画の改定について協議 ・実施計画案について中間報告			第2回	第3回	第3回	第3回
	11月	○推進ワーキング各部会 実施計画案作成に向けた協議				第4回	第4回	第4回
	12月	○第2回推進ワーキング全体会 実施計画案の作成 ○第3回策定委員会 実施計画案について検討			第3回	第2回推進ワーキング全体会		
令和3年	1月	○パブリックコメントの実施 ○第3回推進ワーキング全体会 ・パブコメ、策定委員会の意見を取り入れた修正 ・実施計画案の協議	パブコメ 募集			第3回推進ワーキング全体会		
	2月	○第4回策定委員会 ・計画の最終検討 ・計画の承認			第4回			
	3月	○計画書完成 ○市長に提出 ○完成版の議会報告		全協				

推進ワーキンググループ各部会は平成28年度の実施計画策定時同様、第1部会(再評価・後継者育成関係)、第2部会(ネットワーク構築関係)、第3部会(文化芸術による地域活性化)の3つ。進捗状況や策定委員会での修正具合に応じて、開催時期や回数を判断する。各部会3~5回程度の開催を予定。

南砺市文化芸術振興基本計画の改定内容について

◆基本計画 主な改定内容

- 年度や数字の更新、写真や図の差替え等、変更が必要な箇所に適宜加除修正を加える。
- 文化芸術については長期的な展望が必要なことから、基本方針や目標などはそのまま継続することとし、原則として大幅な変更を加えないこととする。よって、内容はそのままに、計画期間を延長し（計画期間：令和3年度から令和7年度までの5年間）、南砺市文化芸術振興基本計画（第2期）として改定する。

• IV-3. 早期に取り組むべき事業の設定（P24~25）の項目削除

→基本計画の改定と並行して第2次実施計画を策定するにあたり、「早期に取り組むべき事業＝短期事業」として具体的な事業は実施計画の中に盛り込むため、基本計画には具体的な事業の記載は不要。

※前回は、基本計画の策定（H27）から実施計画の策定（H28）までに時間差があったため、実施計画が完成するまでの間の実施事業を基本計画に明記しておく必要があった。

◆追加を検討している主な項目

- 前回の基本計画策定後に新たに認定された文化遺産に関する記載

• ユネスコ無形文化遺産：城端曳山祭（H28 登録）

→基本目標(1)③世界遺産の価値の共有 に施策の方向性として追加

※H28にユネスコ無形文化遺産に登録されたため、基本計画には記載がないが、実施計画には既に記載されている。

• 日本遺産：「宮大工の鑿（のみ）一丁から生まれた木彫刻美術館・井波」（H30 認定）

• プロジェクト未来遺産：福野夜高祭（H29 登録）

- SDGs についての記載

→SDGs（持続可能な開発目標）との関連 の項を追加

※基本目標ごとに細かくアイコンの表示が必要か否か、要検討

- 新型コロナウイルス感染症の影響やその対策についての記載

→新しい生活様式を考慮した内容を検討

- 「小さな世界文化都市」というフレーズの記載

- 「南砺市文化芸術アーカイブズホームページ」に関する記載

- 「南砺 獅子舞『令和元年夏の陣』」に関する記載

- 「応援市民制度」や「地域応援事業」¹などに関する記載

- 「文化と教育の先端自治体連合」²に関する記載

→基本目標(4)②広域的な「結（ネットワーク）」の構築 に施策の方向性として追加

¹ 応援市民制度は、南砺のために応援（活動）いただける方（市外在住）を「応援市民」として市が登録する制度。地域応援事業は、市が地域や団体からの要望を受け、地域や団体の「地域課題」と応援市民の「スキルや想い」とのマッチングを進める事業。

² 文化や教育による先端的なまちづくりを進めている、全国5自治体により構成する連合（H30～）

第 1 次南砺市文化芸術振興実施計画の事業内容について

- ・第 1 次実施計画では、5 つの基本目標に対応する形で実施事業が設定されている。
（個別の事業詳細については、別紙実施計画 P7~14 参照）。
- ・短期事業と中期事業のうち、実施計画の達成度を示す指標として目標値が定められている事業については、令和元年 1 1 月に開催した推進会議にて達成度の検証（中間報告）を行った。

◆これまでに実施した主な事業とその成果

事業番号および事業名	成果
1. 南砺市文化芸術アーカイブズの作成	「南砺市文化芸術アーカイブズホームページ」開設（H30）、R1 の年間アクセス数は約 25,000 件
2. 国際北陸工芸サミット「南砺 匠の工芸サミット」の開催	井波彫刻や五箇山和紙等の伝統工芸、食文化、芸術、産業を絡めた多面的なイベントを実施（H29）
3. 市民・文化芸術団体の交流促進事業	市内の獅子舞団体間の交流促進や意見交換を目的とした「南砺市獅子舞情報交換会」を開催（H30、R1）
7. 南砺市獅子舞競演会の開催	南砺 獅子舞「令和元年夏の陣」を開催。獅子舞共演会、獅子頭の展示、体験ワークショップ等を実施。来場者数の合計約 7,000 人（R1）
14. 団体間の連携、協議会等の設立支援	井波地域の獅子舞団体 10 団体による「井波地域獅子舞連絡協議会」の設立支援（R1）
22. 和紙アートコンクールの充実	五箇山和紙の里で開催する「全国和紙ちぎり絵展」と連携（毎年実施）
33. 南砺市お祭りカレンダーの作成・運営	アーカイブズホームページ内のコンテンツとして「お祭りカレンダー」公開（H30）
36. 3 館企画担当者連絡協議会の開催	広報誌「JOINTO」編集会議の開催（2 ヶ月に 1 回）、「文化会館 3 館連絡会」の定期的な開催（R1~）

※短期事業と中期事業のうち、中間報告にて達成度の検証を行った事業を中心に記載。

※継続事業も引き続き事業を実施しているが、ここでは記載を省略している。

◆実施事業に対する検証について

- ・まずは推進ワーキング全体会にて、それぞれの事業についての実施状況や達成度、課題点等の検証を行う。
→既に達成できている（実施済）事業、今後も継続して実施していくべき事業、方法や内容に見直しが必要な事業、というように事業ごとに評価を行い、今後の展望を明らかにする。
- ・各事業の実施状況や市民アンケート「文化芸術に関する意識調査」（5 月末~6 月中旬にかけて実施）の結果等をふまえて、第 1 次実施計画の内容をベースにしつつ、そこに修正や改善を加える形で第 2 次実施計画の素案を作成する。

Ⅲ 実施事業内容

1. 基本計画項目対応表

基本目標(1) 市民が創り上げる(日常的な)文化芸術の再評価

① 日常的な文化芸術の再評価-意識・価値観の転換

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 「南砺の文化」の記録整理	1	南砺市文化芸術*1アーカイブズの作成	旧町村の町史・村史に記載されている文化・芸術に関する情報を一元化し、記録を保存するとともに市民が自由に利用し、活用できるシステムとする。また、アーカイブズ作成作業において入手した古文書等は、本市文化財保護条例に基づき、適切に保管する。	短期事業	文化・世界遺産課
(b) 地元地域での再評価・再発見	2	国際北陸工芸サミット(仮称)「南砺 匠の工芸サミット(仮)」の開催	富山県や関係団体と連携し、井波彫刻、五箇山和紙といった伝統工芸と食文化、芸術、産業を絡めた多面的なイベントを企画・運営する。	短期事業	関係団体、富山県、商工課、文化・世界遺産課
	3	市民・文化芸術団体の交流促進事業	「南砺市公認お祭り隊(仮)」の実施や各種交流事業を通して市内の文化芸術の魅力を再評価、再発見する。	中期事業	文化芸術交流促進ネットワーク
(c) 南砺市美術展の充実・発展	4	南砺市美術展のさらなる充実・発展	市民からの公募作品と委嘱・招待作家の作品を展示することによって、創作活動の振興を図る。今後は美術連合会中心の運営体制を推進し、より市民が主体となった美術展の開催を目指していく。	継続事業	福光美術館、南砺市美術連合会

*1アーカイブズ: 重要記録を保存・活用し、未来に伝達する、または伝達する仕組みのこと

② 世代や集落を超えた再評価-外からの評価から価値を高める

基本計画の項目	事業記号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 文化の価値を認識するシンポジウム・フォーラムの開催	5	文化芸術シンポジウムの開催	南砺の文化芸術への高い評価や、今後のまちづくりにおける文化芸術の重要性を再認識するシンポジウムを開催した。	(実施済: 来場者80人)	文化・世界遺産課
	6	南砺市文化芸術アーカイブズ、動向・意識調査結果の公表事業	文化芸術アーカイブズ作成、団体の動向・意識調査において収集した情報を、市民・文化芸術団体に還元し、現状を把握し、相互理解や価値の再認識につなげる。調査の結果は分析し、事業番号1「南砺市文化芸術アーカイブズ」上での公開やリーフレットによる周知を行う。	中期事業	文化芸術交流促進ネットワーク、文化・世界遺産課
(b) 伝統的祭事等のモチベーション向上機会の充実	7	南砺市獅子舞競演会の開催	市内の獅子舞、南砺市と深いつながりのある獅子舞を招いた競演会を開催し、獅子舞関係団体の交流、相互理解を図る。	中期事業	文化・世界遺産課

③ 世界遺産価値の共有

基本計画の項目	事業記号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 世界遺産マスタープランの推進	8	史跡保存管理計画の改定	史跡の本質的価値を損ねることなく保全し、将来へと受け継いでいくため、現行の史跡保存管理計画(H8策定)を改定し、今日に即した保存活用、整備の基本方針とする。	継続事業	文化・世界遺産課
	9	五箇山景観条例に基づく、五箇山景観計画の策定と運用	五箇山景観計画に基づく保全策の実施により、世界遺産の緩衝地帯である平・上平地域の景観を良好に保全し、世界遺産と一体となった地域全体の価値を高める。	継続事業	文化・世界遺産課
(b) 世界遺産保存のための啓発活動	10	茅場の維持・再生支援事業	地域住民と企業や大学等が連携して取り組む、茅場の維持・再生活動に対して、今後も継続的に支援を行う。合掌造り集落や茅に関する知識や現状について、広く情報発信し、支援者の拡大、茅場の担い手の確保を図る。	継続事業	公益財団法人 世界遺産相倉合掌造り集落保存財団、越中五箇山菅沼集落保存顕彰会、上平観光開発株式会社、農林課、文化・世界遺産課
	11	啓発促進情報発信推進事業	世界遺産おもてなし*2FreeWi-Fiや、世界遺産解説多言語対応*3ガイドアプリの周知、利用促進を図り、外国人観光客等に対し、合掌造り集落の歴史や魅力、世界遺産に関する正確な情報発信に努める。	短期事業	文化・世界遺産課
(c) ユネスコ無形文化遺産の継承と啓発活動	12	城端曳山等保存修理事業の継続	損傷の激しい曳山等の所有町内の要望に合わせ、計画的な修理事業として継続し、曳山を保存・継承する。	継続事業	城端曳山祭保存会、文化・世界遺産課
	13	全国山・鉾・屋台保存連合会総会の開催と地元地域での啓発促進	ユネスコ登録後初めての全国大会である城端大会を保存会、地域と連携することで成功させ、城端地域だけでなく、南砺市が一体となった盛り上がりを実現できるように努める。	短期事業	埼玉県秩父市、全国山・鉾・屋台保存連合会総会「南砺市城端大会」実行委員会

*2 FreeWi-Fi:無料で使用できる無線LANを使用したインターネット接続サービスの俗称

*3 ガイドアプリ:使用者が要求する情報処理を直接実行するソフトウェアのこと



茅の刈り取り



城端曳山祭の提灯山

基本目標(2) 南砺市内の文化芸術活動団体同士のネットワーク構築

① 文化芸術活動団体の育成・支援

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) ジャンルや目的を同じくした新たな団体の設立支援	14	団体間の連携、協議会等の設立支援	情報共有や相互理解の推進により、自然発生的に連携体制の構築、協議会等の設立に関する相談が寄せられた場合、関係団体の情報提供や協議会設立・運営のノウハウを提供する。	短期事業	文化芸術交流促進ネットワーク、文化・世界遺産課
	15	文化に関するお悩み相談室の開設	「文化に関するお悩み相談室」を文化・世界遺産課内に開設し、気軽に相談できる体制を整える。地域おこし協力隊員は相談員として被相談者と他団体、行政をつなぐ役割を果たす。	短期事業	文化・世界遺産課(協力隊員)
(b) 文化芸術活動団体を育む制度の構築	16	共同体・基金の設立	事業番号19で形成する「文化芸術交流促進ネットワーク」が交流事業を運営し、実績を積み上げることで事業に賛同を得、寄付金や協賛金を募る。自ら活動資金を獲得することによって、長期的な支援事業を行政に頼らず実現し、市内の文化芸術活動団体の育成に努める。	長期事業	文化芸術交流促進ネットワーク、市民、文化芸術関係団体

② 市民・文化芸術団体の交流促進

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 文化芸術を語り合える場の提供	3	市民・文化芸術団体の交流促進事業	文化芸術活動団体や個人がニーズに合わせた情報交換や相互理解を行える場を提供する。	中期事業	文化芸術交流促進ネットワーク
(b) 新たな協力体制の構築					
(b) 新たな協力体制の構築	17	地域の文化協会・芸能協会・美術協会等の交流継続・推進	各地域の文化協会、芸能協会、美術協会等において、現在行われている交流を継続するとともに、これまで参加していなかった団体にも声をかけ、交流の輪を広げる。	継続事業	各地域文化協会、芸能協会、美術協会
	14	団体間の連携、協議会等の設立支援	情報共有や相互理解の推進により、自然発生的に連携体制の構築、協議会等の設立に関する相談が寄せられた場合、関係団体の情報提供や協議会設立・運営のノウハウを提供する。	短期事業	文化芸術交流促進ネットワーク 文化・世界遺産課



福野夜高祭



獅子舞

基本目標(3)文化芸術活動のイニシアチブを執るリーダーの育成・人材発掘(担い手発掘・育成)

① 創造的で熱意のある人をつなぐ

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 文化を「結ぶ」人材の発掘	18	文化芸術をサポートする地域おこし協力隊員の採用	地域の文化をつなぎ、外部からの視点で意見できる人材を適正数採用し、「お悩み相談室」に常駐、各団体に対応するとともにお祭りカレンダーの管理を行う。	短期事業	文化・世界遺産課、南砺で暮らしません課
(b) リーダー・地域文化の担い手たちを「結ぶ」場の提供	19	「文化芸術交流促進ネットワーク」形成のための人材発掘	事業番号3で実施する文化芸術関係者間の交流事業運営や計画推進のために各種団体との調整の役割を担うネットワークを形成する。ネットワークへの参加者は、推進WGや自治振興会、商工会青年部などから人材の情報を募り、参加を促す。交流事業に携わることで南砺市の文化芸術全体を見渡せる人材を育成する。	短期事業	文化・世界遺産課、推進WG、南砺市民、文化芸術活動団体

② 人口減少を食い止める・・・地域に関心を持つ子どもたちの育成

基本計画の項目	事業記号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 地域への関心を高める	20	学校教育と地域の文化芸術活動団体とのマッチング事業	市内小中学校の「総合的な学習」や「ふるさと教育」において、文化芸術に関する授業を行いたい学校側と子どもたち文化芸術のすばらしさを伝えたいという意思のある南砺市内文化協会、芸能協会、美術協会および各種保存会等をマッチングさせる。子どもたちの地域への関心を高めるとともに、未来の後継者確保を目指す。	中期事業	文化・世界遺産課
	21	(事業番号3内での実施) お祭りスタンプラリーの実施	祭事の主催者側に依頼し、体験コーナーを設けるなど子どもたちの興味が湧くような工夫を盛り込んだスタンプラリーを実施し、南砺市の文化芸術に関心を持つきっかけとする。	中期事業	文化芸術交流促進ネットワーク
(b) 子ども体験型事業の充実	22	和紙アートコンクールの充実	現在行われている「和紙アートコンクール」をニーズに合わせて発展・充実させ、子どもが芸術に触れるきっかけを提供する。また、芸術としての深みをもたせるために、「五箇山ちぎり絵コンクール」などとも連携した事業を進める。	継続事業	福光美術館
	23	質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供	文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」メニューを市内学校に照会し、希望する学校の申請補助を行う。	継続事業	文化・世界遺産課

基本目標(4) 従来の地縁的な「結」に変わる「新しい結」の創生

① 集落を超えた「結(ネットワーク)」=協力体制の構築

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 文化を守るセーフティネットワークの構築	24	文化芸術に関する各団体の動向・意識調査	各団体の現状、今後の展望を把握する動向調査や外部からの担い手の受け入れや協力体制の構築に関する意識調査を実施する。	短期事業	文化・世界遺産課
	25	担い手ネットワークの構築(モデルケース事業の実施)	市内外から祭りや文化活動に興味のある個人・団体に情報を発信し、「担い手ネットワーク」を構築する。 上記の動向・意識調査において外部からの担い手受け入れ意識の高い団体をピックアップし、モデルケースとする。	中期事業	文化・世界遺産課、地元地域
(b) 南砺から世界へ…セーフティネットワークの更なる拡大	26	担い手ネットワークの推進(本格的な事業推進)	上記のモデルケースの成功実績を全国、世界に発信し、ネットワークの本格的な運用を開始する。	長期事業	文化・世界遺産課、文化のお悩み相談室
	27	空き家を活用した担い手レジデンス体制の整備	祭り・イベントにおける外部からの担い手の「住」を確保するために空き家を練習から本番までの一定期間貸し出しできる制度を地元地域とともに検討する。	長期事業	文化・世界遺産課、地元地域

② 広域的な「結(ネットワーク)」の構築

基本計画の項目	事業記号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 文化芸術創造都市間のネットワーク構築	28	創造都市ネットワークの活用	全国の創造都市で構成されている「自治体ネットワーク」を活かし、新たな文化事業の取り組みや後継者不足の解決策について得た情報を市内の文化芸術活動団体等と共有する。	継続事業	文化・世界遺産課
(b) 共通の文化圏内における「結」の構築…輪を広げ、結ぶ	29	共通文化圏における新たな「結」の構築	石川県金沢市、高岡市など共通の文化圏に属する市町村や全国的に分布している文化において交流・情報共有を行うことにより、新たな文化創造、文化振興ノウハウの共有化などを進める。	長期事業	文化芸術交流促進ネットワーク



荒木のねつおくり



利賀の初午行事

③ 南砺でしか存在できない独自の「結」の更なる発展

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 世界とつながる「結」の発展	30	世界とつながる文化芸術への支援継続	利賀の演劇、スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド、いなみ国際木彫刻キャンプを「世界と南砺を結びつける独自の文化芸術」と位置づけ、資金的、人的支援を継続させさらなる発展を促す。また、伝統工芸においても市の支援体制を継続する。	継続事業	文化・世界遺産課、商工課、生涯学習スポーツ課
(b) 世代を超えた「結」・「伝統」の継承支援	31	伝統文化継承事業の支援	文化庁「伝統文化親子教室事業」などの次世代への伝承補助事業等を市内各団体に照会し、申請事務を補助するとともにより多くの団体へ周知する。	継続事業	文化・世界遺産課
	3	市民・文化芸術団体の交流促進事業	南砺市伝統の食文化を絡めた交流事業や世代間の意見交換の機会を盛り込み、食の面との連携や、世代間意識の相違の改善に努める。	中期事業	文化芸術交流促進ネットワーク
(c) 独自の食文化の継承・発展	2	国際北陸工芸サミット(仮称)「南砺 匠の工芸サミット(仮)」の開催	富山県や関係団体と連携し、井波彫刻、五箇山和紙といった伝統工芸と食文化、芸術、産業を絡めた多面的なイベントを企画・運営する。	短期事業	関係団体、富山県、商工課、文化・世界遺産課



木遣り町流し



いなみ国際木彫刻キャンプ

基本目標(5) 文化芸術の下地を支える地域コミュニティの振興

① 新たな情報発信方法の創出

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) ビッグイベントを活用した新しい情報発信体制の構築	32	文化のタイアップによる物販・PR事業	「自分たちの文化を外部に発信したい」という希望を持つ文化団体を対象に連携事業の推進をサポートする。連携事業では物品の販売、体験ブースの開設などでPRする場を提供する。	長期事業	文化芸術交流促進ネットワーク
(b) 文化芸術情報の一元化	33	南砺市お祭りカレンダーの作成・運営	すべての祭り・文化イベント情報が網羅できるカレンダーを作成する。また、アーカイブズとリンクすることで多様な情報を引き出せるものとする。	短期事業	交流観光まちづくり課、文化・世界遺産課、南砺市観光協会
(c) 情報発信力の強化	34	南砺市文化芸術アーカイブズ映像資料の活用	市内の文化施設、公共施設にて南砺市文化芸術アーカイブズに掲載されている動画を放送し、常態的な情報発信を行う。	中期事業	文化・世界遺産課

② 文化芸術を活かしたまちの活性化

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) TOGA国際芸術村構想アクションプランの推進	35	TOGA国際芸術村構想アクションプランの推進	*4「TOGAクリエイティブビレッジ構想」のもと、SCOTの演劇を核とした国際芸術村構想を推進し、地域振興と一体となった「アジアの芸術の拠点性」向上に努める。	継続事業	富山県、地方創生推進課、文化・世界遺産課
(b) 「福野文化創造センター」、「井波総合文化センター」、「城端伝統芸能会館」との連携強化	36	3館企画担当者連絡協議会の開催	それぞれの館の特色を尊重しながらも情報共有、イベント等の日程調整を促し、連携体制の構築を進める。3館が連携した新しい文化の創造を目指す。	短期事業	生涯学習スポーツ課、3館、文化・世界遺産課
	37	3館会館事業における地域文化事業の実施	3館の会館事業に南砺市独自の文化をテーマとした企画について年間1回の開催を仕様書に明記する。	長期事業	生涯学習スポーツ課、3館、文化・世界遺産課
(c) 文化施設を活用したまちの活性化	38	文化施設を活用した文化振興拠点整備	南砺市埋蔵文化財センターで行う「子ども歴史体験教室」のさらなる充実を図るほか、斎賀邸、栖霞園などの市民が利用できる文化施設の活用を推進する。	継続事業	文化・世界遺産課

*4 TOGAクリエイティブビレッジ構想: 地域資源を活用し、地域経済の循環と雇用創出を図り、持続可能で創造的な地域コミュニティの構築を目指すもの。

③ 文化芸術で地域を潤す

基本計画の項目	事業番号	事業名	事業の目的と内容	事業実施期間	実施主体
(a) 文化の創造性を活かした新しいまちづくり	39	文化芸術を活かした地域活性化ノウハウの共有	文化芸術の価値の高さを活用し、祭事や地域を盛り上げている団体とそのような活動の実施を考えている団体を結びつけ、企画面でのアドバイスやノウハウの共有を図る。	長期事業	文化に関するお悩み相談室
	40	文化芸術の魅力による定住促進	地元地域と連携し、祭事等への参加を条件とした定住プランを作成する。祭事等への参加を前提とした定住を促すことで地域の方との繋がりを持つことができる。	長期事業	南砺で暮らしません課 文化・世界遺産課、 地元地域、文化芸術活動団体
(b) 福光美術館 常設展・企画展の充実	41	定期的な展示替え等による新鮮な常設展の展示	棟方志功と石崎光瑤の常設展示室を定期的(年4回)に展示替えを行い、質が高く、常に新鮮味のある展示を行っていく。	継続事業	福光美術館
	42	多彩な企画展の開催と子どもたちの芸術鑑賞機会の増加	「アートキルト展」、「公募版画年賀状展」、「美の法門 柳宗悦展」など地元地域の芸術家の作品発表拠点とする他、南砺と関わりの深い著名芸術家の企画展を開催するとともに、子ども向けの事業も充実させる。	継続事業	福光美術館
(c) 「南砺市交流観光まちづくりプラン」との連携強化	43	市民参加型観光スタイルの推進	「なんとエコツーリズム事業」や交流観光まちづくり課のプロモーション事業と連携し、南砺でしか体験できない文化交流を主体とした観光スタイルとする。年間を通してお祭りがある強みを活かし、祭りの練習に参加したり、在来作物の収穫を体験したりと南砺を肌で体感できる観光スタイルを提案し、文化面での協力・調整を担う。	長期事業	交流観光まちづくり課、 エコビレッジ推進課、 南砺市観光協会、 文化・世界遺産課



五箇山和紙の名刺ケース



福光美術館「Artの俊英展」

2. 実施計画事業フロー図

*ここに記載されていない事業は実施計画内で他事業との連携を特に必要としないものである。

